




スターフライヤー乗員組合の現状報告

路線	北九州 羽田
使用機材	 A320 3機
組合員数	機長：6名、副操縦士：8名
最大の問題点	<p>新興航空会社に共通する、立ち上げ運航開始のみに焦点が注がれた大雑把な計画により就航後、雇用、労働環境、勤務形態等、正式な協定も締結せず、改善整備を行う姿勢が見られず現在に至る。</p> <p><u>人員数と構成の問題：</u> 3機をフルに稼働し1日22便の運航に余裕が有るとは思えない乗員数の中機長の大半は外国人に依存し日本人機長は、12月に1名が退職、1月にOB1名退職2月にOBが、さらに1名退職3月にSIM教官退職、基幹となる日本人機長が減少し、日本人機長が抱える疲労や負担は大きく今後の教育体系の確立が危ぶまれる。</p> <p><u>雇用に関する問題：</u> 雇用形態は期間については定めがなく、定年があり賃金についてのみ。年間契約制で雇用され航空身体検査失効時の休業補償も無く、故意または重大な過失による場合以外は、保証人に対して損害賠償を請求する等が盛り込まれた契約内容。</p> <p><u>単組内の問題：</u> 組合員数が少なく一個人に課せられている役割が大きい。又組合活動の際の休みを会社側が認めておらず、公休や有休を使用しての組合活動及び乗員繰りからもつらい面があり、会議に出席出来ない事が多く情報交換、学習機会を失う事がある。</p>
過酷な勤務の一例	<p>北九州 羽田 北九州 羽田 北九州</p> <p>早朝深夜の勤務に加え勤務時間は4LEGを基本とし10時間を超える。</p> <p>4-4-2-4-2の5日パターン。</p> <p>S/U 04:30 D/O 14:35 勤務時間 10+05</p> <p>S/U 05:45 D/O 16:10 勤務時間 11+35</p> <p>S/U 15:30 D/O 25:45 勤務時間 10+15</p>
日乗連メンバーへのひとこと	<p>発足後、日も浅く未熟ですが当社の方向性を形付けて行く為に組合員が団結し会社の現状改善のため一丸となるべく日々精進して行きます。</p> <p>どうか皆様のさらなるご協力とご指導のほどよろしく申し上げます。</p>